

なるほど、なっとく



お仏壇の飾り方

じょう ど しゅう

浄土宗

保存版

入門 浄土宗

浄土宗を開いたのは、法然というお坊さんだ。今から八百年くらい前のことだよ。

浄土宗はインドでおこった浄土教がもとになっています。その教えは極楽にいる阿弥陀如来の名を念じていれば、どんな罪も苦しみも消え、明るい安らかな毎日を送れ、そのままの姿で浄土に生まれることができるとしています。

比叡山で厳しい修行を続けても満足のないような救いを得られなかった法然は中国の僧が著わした書物の一節に会います。「一心に南無阿弥陀仏を唱えれば救われる」という言葉です。

やがて法然は比叡山を去り、京都に出て教えを広め始めたのです。

しかし、その後、大きくなった教団に対して反発が強くなり、念仏停止の命令が出たり、法然も四国に流されるなど、さまざまな圧迫を受けました。

教団が大きくなるって信じる人が多いといことですよ？

そう

貴族や武士だけでなく町民や農民たちもたくさん法然の教えを信じたのだよ。

それまでの宗派はそうじゃなかったんですか？

悟りを開くまでにはいろいろ厳しい修行があったからね。浄土宗の教えは、どんな人でも阿弥陀仏の名を唱えるだけだから、多くの人に受け入れられたのだよ。

なるほどね

これから説明するお仏壇の正しい飾り方の前にまず、宗祖と教義についてお話ししましょう。



宗 紋



月影杏葉紋



葵 紋

- ◆宗祖
圓光大師（法然上人）（1133～1212）
- ◆唱名
南無阿弥陀仏（なむあみだぶつ）
- ◆総本山
知恩院
京都市東山区新橋通東大路東入、林下町
- ◆教義
阿弥陀仏の本願を信じ、「南無阿弥陀仏」を唱えればすべての苦しみから救われ、日々安らかに送り幸せな人生を全うし阿弥陀仏の浄土に生まれることができます。
- ◆教典
無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経

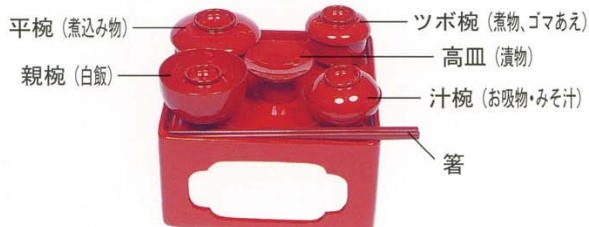
しい飾り方です。



お仏壇の名称と使い方

●お仏膳椀

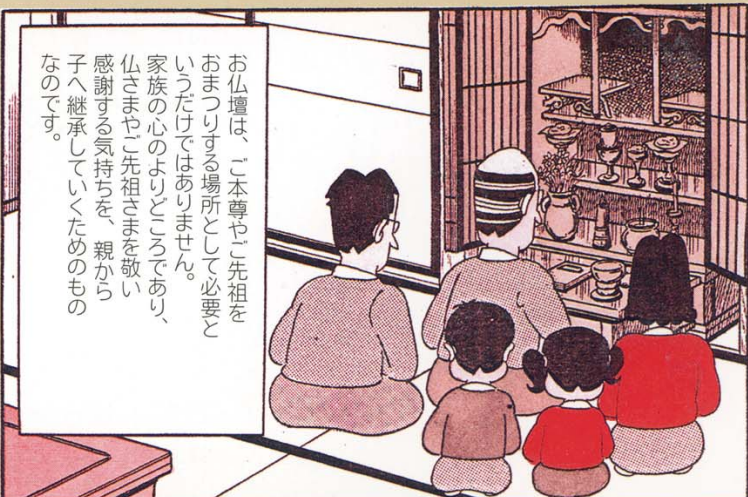
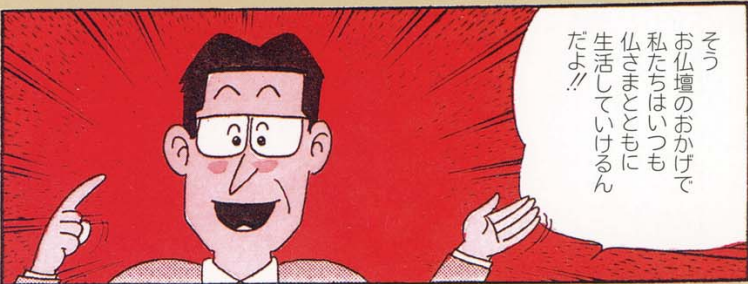
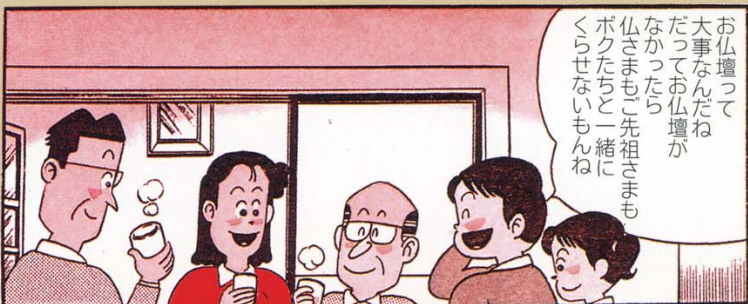
みほとけ、ご先祖さまに精進料理をお供えするときに使うものです。お供えは生きている人と同じように真心こめて、お給仕致しましょう。



※地方により並べ方が異なる場合がございます。

お仏壇は家族の心のよりどころ

お仏壇のある暮らし - 吉田家の場合



あなたのお家のお仏壇は正しい飾り方がなされていますか
右の写真と照らし合せて正しい飾り方を心がけましょう。



- ①ご本尊 (ごほんぞん)
浄土宗のご本尊は阿彌陀如来です。
- ②協侍 (わきじ)
ご本尊に向かって右側に高祖善導大師のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ③脇侍 (わきじ)
ご本尊に向かって左側に元祖圓光大師(法然上人)のお掛軸、または木像をおまつりします。
- ④吊灯籠 (つりとろうろう)
お宮殿の両側に一對つるし、ご本尊のお姿を明るく照らすために用います。
- ⑤瓔珞 (ようらく)
仏像の頸(くび)や腕、ひじ、脚などを飾る珠玉や貴金属で編んだ装身具のことですが、宮殿の装身具として使われます。省略されることもあります。
- ⑥仏器 (ぶつき)
お仏飯を盛る器をいいます。朝のおつとめの前にお供えし、正午にはお下げいたします。普段は一つでよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。
- ⑦茶湯器 (ちやとうき)
お茶、お湯、お水をお供えする器で、普段は一つでよいが、丁寧な場合は三つまでお供えします。

- ⑧打敷 (うちしき)
長方形の織物です。昔お釈迦様のお座所を飾ったといわれています。お正月・お盆・お彼岸・年忌法要などの重い法要の時のみ用います。
- ⑨高坏 (たかつき)
ご仏前の左右においてお菓子や果物をお供えします。足の高いお皿にあたるものです。
- ⑩五具足 (ごぐそく) または三具足 (みつぐそく)
燭台・花瓶・香炉のことを三具足と呼びます。五具足の場合は燭台・花瓶が一對ずつになります。
- イ 燭台 (しょくだい)
ローソク立のことです。正式には一對でお飾りします。ローソクの光は、如来の智慧の光を象徴するものです。ローソクの光に、すべての人の心の闇を照らし出し、救済しようとはたらきかけておられる如来の心を感じたいものです。
- ロ 花瓶 (かひん)
花瓶は、古来インドで香水を入れるのに用いた宝瓶をかたどってあります。生花または金蓮華をお飾りします。
- ハ 玉香炉 (たまこうろう)
香をたく器です。
- ⑪香盒 (こうごう)
お香を入れる入れ物です。
- ⑫お位牌 (おいはい)
お位牌は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や死亡年月日を記して、お仏壇におまつりする、いわば個人のシンボル(象徴)に当たるものです。白木の野位牌は、四十九日までに塗りの本位牌をつくり、忌明けからは本位牌をお仏壇におまつりします。五十回忌が過ぎたら祖霊に合祀されるとよいでしょう。本位牌を新たに仏壇におまつりする時は、開眼法要(かいげんほうよう)といって、お寺のお坊さまに入魂のお経をあげていただきます。
- ⑬過去帳(かこちょう)・過去帳台(かこちょうだい)
過去帳は、亡くなった人の戒名(かいみょう)や

- 俗名・死亡年月日などを記しておく記録帳です。
- ⑭靈膳 (れいぜん)
法要などで一汁三菜の精進料理を仏さま・ご先祖さまにお供えするときに使うものです。靈膳は料理を盛り付けましたら仏前に箸が向く様にお膳をまわしてお供えします。靈膳は法事・命日・盆・彼岸・お正月などに供えます。
- ⑮前香炉 (まえこうろう)
お線香立のことです。お線香は、仏様の前に出るときに心身とも清浄にするためのものです。少量でも、良質のものを使いましょう。
- ⑯鈴 (りん)
チーンと打ちならすカネの音は八万四千のほとけの世界に届きます様にと念を込めて鳴らします。また人々の邪念を払うと共に、読経の時に打つ事が指示されている重要な荘厳具であります。
- ⑰撥 (はち)
鈴を打つ棒で、おつとめの時以外は鈴の中に正面を向けておきます。
- ⑱鈴台 (りんだい)
鈴を置く台を鈴台といいます。
- ⑲木魚 (もくぎょ)
木魚は、読経用の打楽器です。表面に玉鱗(いしん)二頭の竜頭(りゅうとう)を彫ってあります。魚は常に目を開けているので、それにちなみ怠惰をいましめるために魚板を叩いたことから、変形して木魚になりました。
- ⑳伏鉦 (ふせがね)
念仏・お題目にあわせたり、御詠歌に合わせて拍子をとるために用います。
- ㉑経机 (きょうつくえ)
お経の本や香炉あるいは鈴を置く机のことです。

お仏壇の飾り方は、お仏壇の形式・サイズ・お仏具の種類及び地方の習慣により異なる事があります。必ず当店にお問合せ下さい。

これだけは知っておきたい 浄土宗のQ & A

日常礼拝の
しかたを
教えて下さい。



①朝起きたら

お仏壇を掃除し、
お灯明をともし線
香や仏飯・茶湯を
お供えします。線
香は一本、または
三本供えます。



②リン

まず、リン(カネ)
を打ちます。



③合掌・礼拝

姿勢を正して合掌
礼拝します。
お念仏「南無阿弥
陀仏」を唱えます。

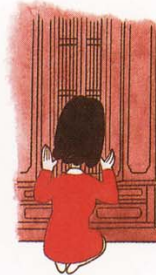


④到来物のお供え
いただきものをし
たら、お仏壇へお
供えする習慣をつ
けましょう。



⑤就寝前に

寝る前にも合掌礼
拝し、火元を確認
して扉を閉じます。



お数珠とその
かけ方について
教えて下さい。

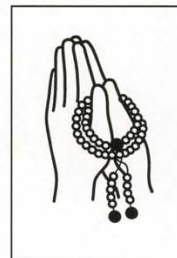


念珠は大切な法具ですから、家族ひとりひとり
が、かならず持ちましょう。
自分にふさわしい、あまり粗末でない品をえら
ぶことが大切です。

●浄土宗の数珠



●かけ方



年中行事は
どんなものが
ありますか



●御忌・御忌法会(一月二十五日)

法然上人のご命日が建暦二年(一一二二)正月
二十五日なので、一月にかぎらず、二十五日に
は別時念仏会、法会が行われます。

●宗祖降誕会(四月七日)

法然上人が長承二年(一一三三)にお生まれに
なった四月七日の記念法要です。

●十夜法要・お十夜(十月六日〜十五日)

観音祐崇上人が後土御門天皇の命を受けて、浄
土宗でも行うようになった法要です。

◆全国優良仏壇専門店会加盟店◆

〈仏壇、仏具、神具、寺院用具、墓石〉



創業百余年
佛壇の升谷

佛壇の升谷

本店 秋田市大町一丁目4-37
(仏壇・寺院用具) 電話 018(824)3181
石材部 秋田市寺内神屋敷70
(墓石展示場) 電話 018(863)8284